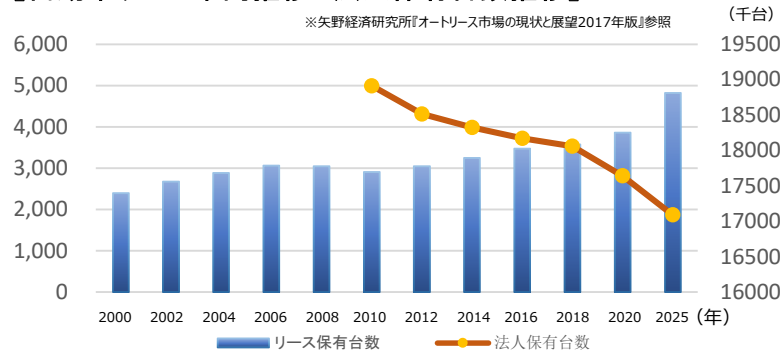


自動車リースを選ぶ企業が増えています

～経営者や管理本部役員向け～

【自動車リース車両推移と法人保有台数推移】

※矢野経済研究所『オートリース市場の現状と展望2017年版』参照



Point 1

法人保有車両は減車の一途の中、管理合理化からリースは右肩上がりの成長。

【自動車リースを選択する企業】

①業務改善を推進している企業

☞社内改革のリードオフマン・管理部門も攻めの時代です。

*「アウトソーシングのメリット「仕組みの違い～自社保有とリース～」に参照。

②コストダウンを意識している企業

☞オートリースは、コスト削減を実現します。

*「コストダウンのイメージ」に参照。

③コンプライアンスを重視している企業

☞「企業の社会的責任」が問われる時代、自社車両の管理責任が重要です。 *Point 2ご参照。

④環境対応を表明している企業

☞環境対応の先進性をアピールできるEV(電気自動車)の導入により、IR貢献している事例もあります。

Point 2

自動車リースは、もはや単なる金融の調達手段ではありません。
自動車の総合管理の考え方から、メンテナンスリースが有効です。

ファイナンスリース

車両調達手段として
金融機能を提供

メンテナンスリース

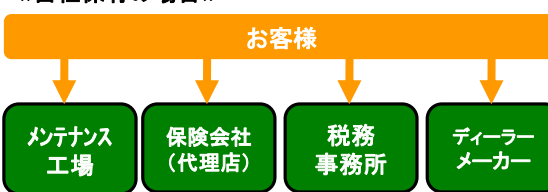
金融機能と車両維持管理
業務を一体として提供

メンテナンス マネジメントサービス

車両の維持管理業務の
を提供

【アウトソーシングのメリット「仕組みの違い～自社保有とリース～」

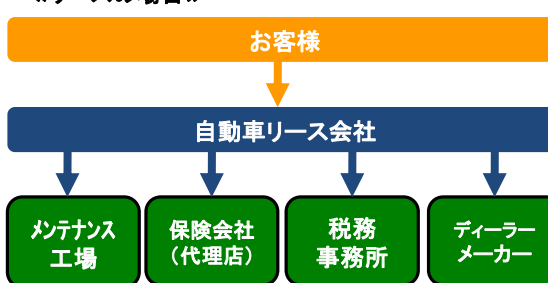
《自社保有の場合》



《直接・間接の人員配備の実態》



《リースの場合》



《直接・間接の人員配備のスリム化》



《戦略的な人員再配置が可能》

Point 3

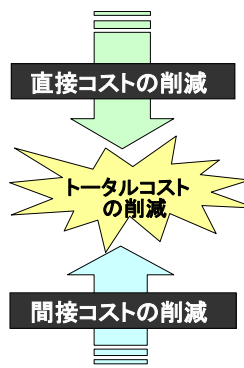
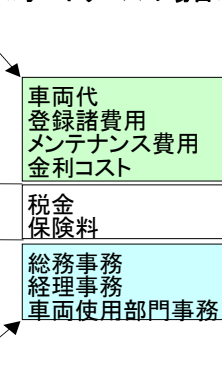
アウトソーシングのメリットを有効活用し、企業の本源的な資源である人材の戦略的な有効活用が可能。

【コストダウンのイメージ】

《自社保有の場合》



《オートリースの場合》



Point 4

オートリースは、スケールメリットが大きく働くサービス商品です。